

2018 年度 大学院博士後期課程入学試験概要（参考）

1. 募集研究科・専攻、入学定員、募集区分

研究科	専攻	入学定員	募集区分	
			一般入試	社会人入試
人文科学研究科	日本語日本文学専攻	2 名	○	－
	英語英米文学専攻	3 名		
	応用社会学専攻	2 名		
	人間科学専攻	3 名		
自然科学研究科	物理学専攻	3 名	○	○
	生命・機能科学専攻	3 名		
	知能情報学専攻	2 名		
社会科学研究科	経営学専攻	3 名	○	○
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	1 名	○	○

注 1) 入学定員は一般と社会人を合わせたものである。
注 2) 社会人を対象とした入学試験（以下、「社会人入試」という。）の募集人員は、各専攻とも若干名とし入学定員に含む。
注 3) 選考の結果によっては、合格者が入学定員に達しない場合もある。
注 4) 社会科学研究科経営学専攻を志願する者は、希望する科目（演習テーマ）が開講されているかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせること。
注 5) 大学院入学にあたり在留資格「留学」を必要とする者は、出願以前に入試センターに相談すること。

2. 出願資格

【一般入試】

人文科学研究科

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士または専門職の学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに学位を授与される見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24 歳に達した者
- 注) 上記(5)(6)項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 1 箇月前までに提出すること。

社会科学研究科

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士または専門職の学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに学位を授与される見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24 歳に達した者
- 注) 上記(5)(6)項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 2 箇月前までに提出すること。

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに修士の学位に相当する学位を得る見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに学位を授与される見込みの者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24 歳に達した者
 - (7) 大学卒業後、大学・研究所等において 2 年以上の研究歴を有する者
- 注) 上記(5)(6)項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 1 箇月前までに提出すること。

【社会人入試】

自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科

次のいずれかに該当する者

- (1) 入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を 2 年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 修士の学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ⑤ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑥ 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、24 歳に達した者注) 上記⑤⑥号の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 1 箇月前までに提出すること。
- (2) 入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を大学卒業後 3 年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、所属長より推薦を受けた者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、25 歳に達した者
 - ② 学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者注) 上記(2)項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 1 箇月前までに提出すること。

社会科学研究科

次のいずれかに該当する者

- (1) 入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を 2 年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、出願時に次のいずれかに該当する者
 - ① 修士または専門職の学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者及び 2018 年 3 月末日までに授与される見込みの者
 - ⑤ 文部科学大臣の指定した者注) 上記⑤号の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 2 箇月前までに提出すること。

- (2) 入学時に企業等において志望する専攻に関する職務経歴を大学卒業後 3 年以上有する者であって、入学後も継続してその身分を有し、出願時に次のいずれかに該当する者
- ①個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ②学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- 注) 上記(2) 項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 2 箇月前までに提出すること。
- (3) 入学時まで 20 年以上の社会人経験（家事従事者を含む）を有し、次のいずれかに該当する者
- ①個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- ②学術報告、著書等により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者
- 注) 上記(3) 項の資格によって出願資格の認定を希望する者は、入試センターを通じて入学資格審査に必要な書類を入手のうえ、出願開始日の 2 箇月前までに提出すること

3. 出願書類

【一般入試】

- (1) 入学志願票（本学所定用紙）
- (2) 修了（見込）証明書
- (3) 成績証明書
- (4) 専攻分野及び受験科目調査票（本学所定用紙）
- (5) 研究計画書（人文科学研究科応用社会学専攻・社会科学研究科経営学専攻・フロンティアサイエンス研究科のみ。本学所定用紙。）
- (6) 修士論文等

研究科	専攻	内容等
人文科学研究科	日本語日本文学専攻 応用社会学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000 字以内）
	英語英米文学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその英文要旨（800 語程度）
	人間科学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000 字以内）
自然科学研究科	物理学専攻 生命・機能科学専攻 知能情報学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（和文で 1,000 字程度）
フロンティアサイエンス研究科	生命化学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（和文で 1,000 字程度）
社会科学研究科	経営学専攻	修士論文の写し（またはこれに代わるもの）及びその要旨（2,000 字以内）

注 1) 現在、他の大学院に在籍する者で、修了見込証明書が提出できない者は、在籍している大学院の受験許可書を添えること。

注 2) 成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付すること（コピー可）。

注 3) 本学人文科学研究科の修士課程修了（見込み）者は、修士論文の写しを提出する必要はない。

注 4) 専攻分野及び受験科目調査票には、選択する受験科目を必ず記入すること。出願後の受験科目の変更は認めない。

注 5) 出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書類のうち「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略する。

【社会人入試】

- (1) 入学志願票（本学所定用紙）
- (2) 修了（見込）証明書
- (3) 成績証明書
- (4) 専攻分野及び受験科目調査票（本学所定用紙）
- (5) 研究計画書（本学所定用紙）
- 研究指導教員を決め、事前に相談の上、作成すること。
- なお、社会科学研究科経営学専攻では、希望する研究指導教員との事前相談は必要としない。
- (6) 推薦書（社会科学研究科経営学専攻を除く。本学所定用紙）
- 所属長等が記入し厳封したもの
- (7) 職務経歴書（本学所定用紙）
- 研究・業務歴及び研究・業務業績を記入すること。
- (8) 修士論文等

修士論文の写し（またはこれに代わるもの）、学術論文等の関係資料の別刷または写し

注 1) 成績証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを確認できる公的書類を添付すること（コピー可）。

注 2) 専攻分野及び受験科目調査票には、選択する受験科目を必ず記入すること。出願後の受験科目の変更は認めない。

注 3) 出願資格のうち、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、出願書類のうち「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」は「出願資格認定書の写し」をもって省略する。

注 4) 社会科学研究科経営学専攻において、事前の入学資格審査により出願資格を認定された者については、注 3) に加え、「修士論文等」の提出も不要とする。

4. 出願期間 1 月 17 日（水）～1 月 26 日（金）（26 日消印有効）
5. 試験日 人文科学研究科・社会科学研究科 2 月 17 日（土）
自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科 2 月 18 日（日）
6. 試験場 甲南大学岡本キャンパス・ポートアイランドキャンパス
7. 試験科目・内容・試験時間

【人文科学研究科】

専攻		試験科目・内容（試験時間）		
		外国語	専門	口頭試問
日本語日本文学専攻		英語、ドイツ語、フランス語、中国語、漢文から 1 科目（90 分）	専攻しようとする分野に関して行う（90 分）	専攻しようとする分野に関して行う
英語英米文学専攻		ドイツ語、フランス語から 1 科目及び英語（90 分）	専攻しようとする分野に関して行う（120 分）	
応用社会学専攻		英語、ドイツ語、フランス語から 1 科目（120 分）	専攻しようとする分野に関して行う（90 分）	
人間科学 専攻	環境・芸術・ 思想専修	英語、ドイツ語、フランス語から 1 科目（90 分）	専攻しようとする分野に関して行う（90 分）	
	心理臨床専修			

注) 外国語試験では、本学が辞書（英和・独和・仏和・中日）を貸与する。但し、日本語日本文学専攻の「漢文」及び英語英米文学専攻の「英語」では、辞書を貸与しない。

【自然科学研究科】

専攻	試験科目・内容（試験時間）		
	一般		社会人
	外国語	専門	口頭試問
物理学専攻	英語（120 分）	修士論文または研究成果を中心にして口述により行う。ただし、志願者多数の場合は筆記試験を課すことがある	研究分野に関連した科目についての専門的学力、修士論文、研究・業務業績、将来の研究計画等を中心にして行う
生命・機能科学専攻			
知能情報学専攻			

【社会科学研究科】

専攻		試験科目・内容（試験時間）		
		一般		社会人
		外国語	口頭試問	口頭試問
経営学専攻		英語（90 分）	修士論文または研究成果を中心にして口述により行う（45 分程度）	研究分野に関連した科目（演習テーマ）についての専門的学力、修士論文、研究・業務業績、将来の研究計画等を中心にして行う（60 分程度）

注 1) 経営学専攻の外国語試験では、辞書（英和）の持込使用を認める。ただし、電子辞書、専門用語辞典は認めない。

注 2) 経営学専攻を志願する者は、専攻しようとする科目（演習テーマ）が開講されるかどうか、出願前に必ず経営学専攻に問い合わせること。

【フロンティアサイエンス研究科】

専攻		試験科目・内容	
		一般・社会人	
生命化学専攻		口頭試問	修士論文または研究成果を中心にして口述により行う

8. 選考方法
- 試験結果及び出願書類により総合的に選考する。ただし、1 科目でも欠席した者は、合否判定の対象としない。

9. 合格発表 2月23日（金） 合格発表日に可否通知を送付する。掲示発表は行わない。

10. 入学手続

入学手続期間 2月27日（火）～3月6日（火）〔一括納入方式〕
注）入学辞退の申請は、3月末日までとする。

11. その他

- (1)自然科学研究科及びフロンティアサイエンス研究科社会人入学試験に出願する者は、研究テーマの設定に当たって研究指導教員との話し合いにより、企業等での研究を生かすことも可能である。
- (2)標準修業年限を超えて、長期履修を希望する場合は、出願以前に各専攻に相談すること。
- (3)社会科学研究科経営学専攻を志望する者で、出願資格の認定にあたって事前の入学資格審査を必要とする者については、大学院修士課程入学試験大綱で定める書類のほかに、「ビジネス等に関する見解書（4,000 字程度：書式自由）」及び「同見解書に関連する資料等（主要なもの3点以内）」を提出すること。
- (3)病気・負傷や障がい等のある者が本大学院に出願する場合は、受験時や入学後の学修に支障があることも考えられるので、出願開始の1箇月以上前までに入試センターに申し出ること。
- (4)出願資格の認定にあたり、事前の入学資格審査を必要とする者については、①「出願資格申請書（本学所定用紙）」、②最終の教育施設の卒業証明書等及び成績証明書、③実務経験等の期間及び内容を証明するもの、及び④特記すべき資格を有する者はその証明書に基づき、申請者が進学を希望する専攻が、出願資格の有無について審査を行う。
- (5)受理した書類及び納付した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。